

かながわの交通

2019
5

交通安全年間スローガン受賞作品（文部科学大臣賞）
～こども部門～ 中学生以下への交通安全を呼びかけるもの

自転車と いつも一緒 ヘルメット



横浜港での交通安全キャンペーン

(横浜市中区)



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況(平成31年4月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成31年		7,725	41	8,971	県人口	9,180,510	4,575,220	4,605,290
平成30年		8,648	45	10,271	免許人口	5,652,453	3,228,056	2,424,397
増減数		-923	-4	-1,300	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-10.7	-8.9	-12.7				

(県人口は平成31年4月1日、免許人口は平成31年3月末現在)

着任挨拶

神奈川県警察本部

交通部長 中崎 敦



交通部長の中崎でございます。

この春の人事異動により着任いたしました。

交通安全協会の皆様におかれましては、地域における交通安全活動をはじめ、警察行政各般にわたり御支援、御理解を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、3月末現在の県内の交通事故発生状況につきましては、発生件数、負傷者数、死者数は、昨年と比べ減少しているものの、30人もの尊い命が失われているところであります。

交通死亡事故の特徴をみますと、亡くなられた方の約6割が高齢者で、中でも道路横断中に事故に遭うケースが多くなっております。

本年は第7回アフリカ開発会議、ラグビーワールドカップ2019™、そして来年には、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

歩行者優先が定着している諸外国から多くの来訪者が予想され、県民だけでなく、来訪者の方々の安全を確保する観点からも、交通安全意識の一層の向上が必要であります。

そのため、県警察では、横断歩道における安全を確保するため、横断歩道や交差点等における交通指導取締りを強化するなど、横断歩行者保護対策を重点とした各種活動を推進しているところであります。

会員の皆様におかれましても、運転者には、信号機のない横断歩道においては歩行者優先であること、歩行者には、道路を横断する際は横断歩道を渡ること、左右の安全を確実に確認することと呼びかけていただくなど、地域や家庭における交通安全意識の高揚にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、交通安全協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

二輪車交通事故防止及び暴走族追放運動

◎ 期 間

2019年6月1日(土)～6月30日(日)の1か月間

◎ 趣 旨

この運動は神奈川県交通安全対策協議会の主唱により、多発する二輪の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識の高揚を図るとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を高揚して暴走族への加入防止と離脱の促進を図るため、県民総ぐるみの運動を展開します。

◎ スローガン

- ◇ 運転に ゆとりやさしさ 思いやり
- ◇ 暴走は しないさせない ゆるさない

◎ 重 点

- 二輪車の交通事故防止
- 暴走族の追放

◎ 交通安全協会の主な推進事項

- 暴走族・二輪車の無謀運転追放キャンペーンなどを実施し、広報啓発活動を推進します。
- 二輪車安全運転講習会、暴走族への加入防止などの安全教育の場への積極的参加を呼びかけ、支援活動を行います。



「新入学児童・園児を交通事故から守る運動」実施結果

新入学児童・園児を交通事故から守る運動が4月5日(金)から11日(木)までの7日間行われました。期間中は、「新入学児童・園児を交通事故から守ろう」をスローガンに県内各地区において、登下校時間帯の児童の保護誘導活動、交通安全キャンペーン等を行いました。

期間中の交通事故の発生状況については、交通事故発生件数及び負傷者数は前年の同じ時期と比べて減少し、死者数は同数でした。

小学生以下の子供の交通事故は大幅に減少しました。



(保土ヶ谷交通安全協会)

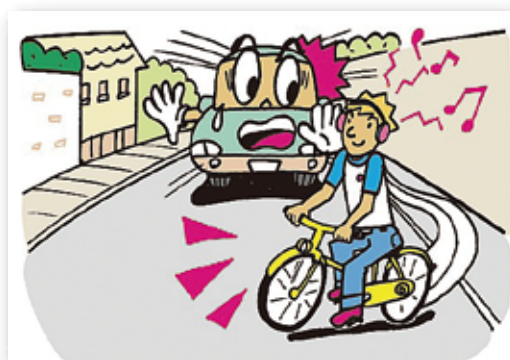
◇ 県内の交通事故発生概況(運動期間中)

区 分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本 年	458 (31)	2 (0)	524 (32)
前年運動期間比	-50 (-15)	±0 (±0)	-101 (-19)
増 減 率 (%)	-9.8 (-32.6)	±0 (±0)	-16.2 (-46.3)

※()内は、子供の交通事故

自転車マナーアップ強化月間実施中

各地区協会では、自転車マナーアップ強化月間である5月中、特に、5月5日のチリリン・デーなどの機会に駅頭や主要交差点などでキャンペーンを展開し、自転車利用者の交通ルール遵守、マナーアップを呼びかけています。



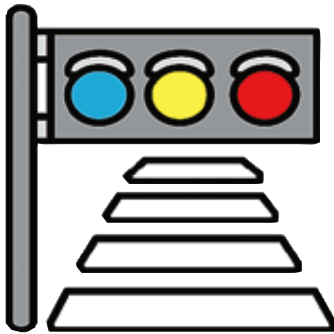
..... 2019年度「自転車交通事故多発地域」

神奈川県交通安全対策協議会(会長:黒岩県知事)は、平成30年中の自転車交通事故件数の割合(構成率)が県内平均(23.2%)より3ポイント以上高いか、自転車交通事故死者数が2人以上のいずれかに該当する計13市区町を5月1日付けで「自転車交通事故多発地域」に指定し、自転車事故防止対策の一層の推進を図ることとしました。

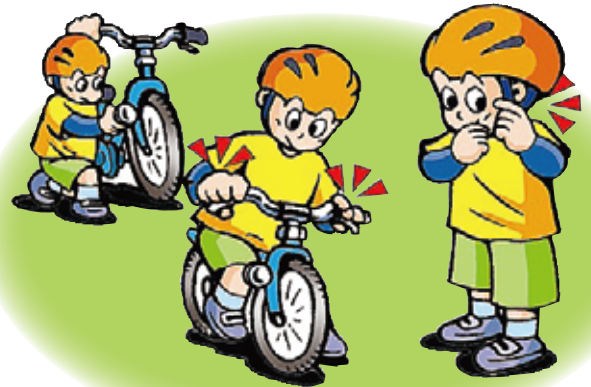
	指 定 地 域
市	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市
区	横浜市鶴見区、川崎市川崎区・幸区・中原区・高津区・相模原市中央区・南区
町	大磯町、開成町

※ 下線は昨年も指定

第50回交通安全こども自転車神奈川県大会及び 第8回交通安全高齢者自転車神奈川県大会出場チーム募集中



こどもと高齢者の自転車の安全な乗り方の向上と自転車事故防止を目的として交通安全自転車神奈川県大会を開催します。



- **開催日時**
2019年7月6日(土) 午前9時から
- **場 所**
横浜文化体育館(横浜市中区不老町2-7)
- **申し込み先**
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-12-15
(公財)神奈川県交通安全協会
TEL 045-478-0166 FAX 045-475-5524
- **締め切り**
2019年6月3日(月)
- 大会概要、参加条件等詳細については、(公財)神奈川県交通安全協会へお問い合わせください。

第21回セーフティ・チャレンジ・かながわ 無事故・無違反コンクール

- **申込期間**
2019年4月16日(火)～6月30日(日)
- **コンクール期間**(無事故・無違反チャレンジ期間)
2019年7月1日(月)～12月31日(火)
- **参加要件**
 - ◇ 神奈川県内に在住・在学・在勤または、仕事等のため県内で自動車等を運転する方3人一組で構成するチーム
 - ◇ チーム全員(3人とも)が各都道府県公安委員会の自動車運転免許(国際免許を除く)を受けていること
- **参加区分**
 - ◇ 一般チーム: 年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム
 - ◇ シルバーチーム: 一般チームのうち、全員が65歳以上(7/1日現在)のチーム
- **抽選** 2020年2月下旬に抽選・2月28日(金)当選発表(予定)
- **参加手数料**
 - ・ 1チーム1,890円(運転記録証明書発行手数料1人630円の実費)
 - ・ 参加者の運転記録証明書は、チーム代表者あてに送付します。
(1年間以上無事故・無違反の方はSDカードを同封します。)



賞品〈予定〉

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 特賞 | 30万円分の旅行券 [1チーム] |
| 1等 | 15万円分の旅行券 [2チーム] |
| 2等 | 6万円分の商品券 [5チーム] |
| 3等 | 3万円分の商品券 [10チーム] |
| 4等 | 6,000円分の商品券 [150チーム] |
| 5等 | 3,000円分の商品券 [300チーム] |
- その他シルバー特別賞あり

～「あおり運転等」の行為を受けたら～

☆ いわゆる「あおり運転等」とは？

道路交通法上の定義ではありませんが、一般的に前方を走行する車に対して進路を譲るよう強要する行為であり、車間距離を詰めて異常接近したり、追い回す、幅寄せ、パッシング、警音器使用等によって相手を威嚇したり、嫌がらせをする等の行為と言われています。



☆ もし「あおり運転等」の行為を受けた場合

- 相手にすることなく、近くの安全な場所に避難して、ためらうことなく警察に110番通報をしましょう。
また、相手からの暴行を避けるため、ドアをロックし、窓を開けないようにしましょう。
- 同乗者がいる場合は、ナンバー等の記録や110番通報をしてもらってください。
- ドライブレコーダーやカメラ等を有効に活用してください。

2019年使用交通安全スローガンポスター

～神奈川県伊藤文人さんの作品が入賞～

◎ 警察庁長官賞

運転者（同乗者を含む）へ
呼びかけるもの



◎ 佳作

歩行者・自転車利用者へ
呼びかけるもの



交通事故の悲劇に学ぶ 69

●「犯した罪と向き合い」 鳶職（24歳）

平成27年のある月、何も関係ない女性の命を奪うという人として一番してはいけないことをしてしまいました。

私は会社が隣町にあったため、毎日車で通勤をしていました。その日も一日の作業が終わり、車で会社から帰宅する途中でした。この日はいつもの時間帯より早く仕事を終え、いつも走り慣れた道を運転している時でした。

ふと、たばこが吸いたくなり、いつも置いてある場所を手探りで探しました。前方の信号機が青色を表示しているのを一旦確認した後、「この信号が赤色に変わり停まる事はそうないから、今回も停まる事はないだろう」と思い込み、助手席に目を移し、たばこライターを靴から探し出し、たばこに火をつけるなどして脇見をしながら運転していました。

しかし、前方の信号が赤色に変わっていたことに気づかず、たばこに火をつけ、前方を確認した際、横断歩行している人の姿を発見し、「やばい」と思い、急いでブレーキを踏みました。

しかし、間に合わず、「ドンッ!」という鈍い音とともに、歩行者を車の前部に衝突させ、路上に転倒させてしまったのです。「とんでもないことをしてしまった」と思い、すぐに車から降りて被害者の女性のもとに駆け寄り、呼び掛けました。すると、返事があったので、急いで救急車を手配するとともに、警察の方にも「人を撥ねてしまったのですが」と通報をしました。

その後、救急車とパトカーが到着し、被害者の方は病院に搬送されるとともに、私は現場検証に立ち会い、後日詳しく事情聴取を受けることになりました。その日は、警察の方に「すぐに病院に行ったほうがいい」と言われ、すぐに病院に向かいました。病院に着くと、すぐ被害者のご家族に謝罪と安否の確認をした後、「今は手術を行っていて、とても危険な状態だ」と説明されました。とにかく何とか助かって欲しいと心から願いました。

しかし、しばらくして、被害者の方が亡くなったという知らせを聞かされ、頭の中が一瞬、真っ白になりました。翌日、親と一緒に被害者のご自宅へお伺いし、謝罪とお焼香をさせてもらったり、通夜・葬儀にも参加させてもらいました。

被害者ご遺族の自宅にお伺いした際や葬儀に参加



イラストは本文とは関係ありません

した際、被害者の方のお嬢様がずっと泣かれていたこと、ご遺族の方の顔や言葉を聞き、「自分は人の命を奪うという取り返しのつかない事をしてしまった」という罪悪感でいっぱいになりました。

その後も月命日などで被害者ご遺族の自宅に謝罪とお焼香にお伺いしていましたが、自分は親の後で謝罪をしたり、ご遺族の方に電話をしてもらうなど親の後ろに隠れるような事をしてしまいました。

その後、裁判が行われて、私は過失運転致死罪で禁錮2年の実刑判決を受け、私は市原刑務所で日々反省の時間を過ごしています。私は受刑生活において、色々なことを学びました。私が命を奪ってしまったせいで、被害者のご遺族の方や周りの人達の時間や、将来の希望をも奪ってしまったこと、心に深い悲しみとショックを与えてしまったこと、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、私はまだきちんとした謝罪ができていません。心から反省し、私が犯した罪ときちんと向き合い、二度と同じ過ちを犯さないことを心に誓い、誠意を尽くした謝罪をし、行動していきます。

どんなことをしても時間は戻りませんし、亡くなった人を生き返らせることもできません。だからこそ、私はその真実から逃げることなく、きちんと向き合い背負って、一日一日を大切に過ごし、生涯を懸けて真の償いとは何かを考えていこうと思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「讀いの日々(第53集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- さがみ信用金庫 ————— 小田原市本町
- 学校法人北里研究所総務部相模原庶務課 ————— 相模原市南区北里
- 三菱重工(株)勤労安全課 ————— 相模原市中央区田名

この人
158



足柄交通安全協会
会長
大谷 隆さん
おおたに たかし



足柄交通安全協会は、神奈川県西部に位置し東名高速や国道255号線、国道246号線が通る南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町の一市五町の広域にわたる足柄地域の交通安全のため、日々活動しています。

当協会では、平成8年から支部長、理事、常任理事、平成16年から副会長を歴任して、平成29年5月に第15代会長に就任しました。

私は、長男として山北町に生まれ育ち、大学卒業後、会社員として5年勤務したあと、父の代から続くスポーツ店を継ぎました。27歳の時でした。

昭和54年に山北町交通指導隊に入り、地域の交通安全活動を続けてきました。地元の室生神社の例大祭では、神輿や花車の巡行に、朝6時から交通整理をしていました。

同時期に、交通指導員を15年務めて、平成13年に功績賞を受賞しました。その後、10年間の隊長を含めて、指導隊員として32年務め、平成24年、山北町から功労表彰を受け、同年「交通栄誉章緑十字銀賞」を受賞しました。

趣味は、スポーツとお酒です。テニスは地元のスクールで指導したり、スキーは全日本スキー連盟の準指導員を取得して、現在もスキーを楽しんでいます。

雪の便りを聞くと、今でも血が騒ぎます。仲間と一緒に飲むお酒は格別で、とても楽しみにしています。

思い悩んだ時には、胸にしまってある「それでも、地球は回っている」という言葉を強く意識して、「小さなことで悩んでいるな!」と、自分を奮い立たせています。

松田警察署管内では、最近、交通事故発生件数は減少しているものの、高齢者が関わる交通事故の割合が多く、その対策が急務であると思います。

地域の交通関係団体とも連携して、飲酒運転根絶運動を強化している中でも、飲酒運転が後を断たず、重大な事故につながっています。

加害者も被害者も、一生を台無しにしてしまう交通事故を一件でもなくすため、思いやりのある安全運転に心がけて欲しいと強く願って、今後も活動を続けてまいります。

(取材協力: 足柄交通安全協会)

こんにちは
「(一社) 川崎臨港交通安全協会」です

川崎臨港交通安全協会は、昭和24年4月に発足し、70周年を迎えました。発足当時は、事業所会員数70社で始まり、一時450社まで増加しましたが景気の影響もあり現在では200社余となりました。また、会員数も減少傾向ですが、交通事故を1件でも減らそうと各季の交通安全運動等とはもとより幼稚園、小学校、事業所での交通安全教室を開催し、交通ルールとマナーの大切さを教えて交通安全の知識・技能を身に着けるよう警察署員とともに日々努力しております。

臨港地区では他では見られない事業所会員による街頭指導を日割表によって毎月1日、15日の交通安全日と各季の交通安全運動期間中、主要交差点に立って交通ルールを無視する自転車や歩行者に対し指導誘導活動を積極的に行っています。

各町内会も交通安全運動期間中は各交差点に TENT を設置して、お揃いのジャンパーを着用し地域ぐるみで交通安全活動をしております。

大型車両が昼夜を問わず多数走行する産業道路・国道409号に隣接する小学校では、児童を交通事故から守るために、児童が参加する「交通安全少年団」を応援するため、常時交通指導員を配置して登下校時の見守り活動を永年行っており、その活動が認められ教育関係者、地域住民より大変感謝されております。(川崎市内の「交通安全少年団」は川崎区に3校と多摩区に1校です。)

毎年、5月下旬に開催されるJFEふれあい祭りでは、交通安全協会ブースで職員がぬいぐるみに入り汗だくになりながら、風船やキャラクター入り反射材を配ったり10月初旬に開催される川崎みなと祭りの警察ブースでも当協会から反射材等の啓発物を配って自転車事故防止活動



を行っております。

昨年の地区の交通事故は、発生件数、負傷者数は減少したものの死者数が大幅に増加してしまいました。今年も交通事故によって悲しく、つらい思いする方が少しでも減少するよう「交通事故ゼロ」を合言葉に警察署、行政、関係機関・団体と連携を強化し、協会役員、地域交通安全活動推進委員、交通指導員、職員が一体となって交通安全活動を推進してまいります。

(紺野 記)

地区交通安全協会の活動紹介



磯子 根岸小学校入学式での交通安全キャンペーン



大船 小坂小学校入学式での交通安全キャンペーン



津久井 川尻小学校入学式での交通安全キャンペーン



秦野市 南が丘小学校通学児童に対する保護誘導活動



海老名市 有馬小学校入学式での交通安全キャンペーン

新入学児童・園児を交通事故から守る運動



緑 中山駅前での交通安全キャンペーン



横須賀 諏訪小学校入学式での交通安全キャンペーン



中原 中原交通安全児童指導員の委嘱式



神奈川 幸ヶ谷小学校入学式での交通安全キャンペーン



相模原北 当麻田小学校入学式での交通安全キャンペーン

インフォメーション

- 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間 ————— 6月中
- 二輪車安全運転講習 ————— 6月 1日(土) 運転免許センター
- 第10回評議会、第28回理事会 ————— 6月18日(火) 県安協会館
- 地区事務長会議 ————— 6月26日(水) 県安協会館